

あすなろの木

光明中だより
編集者：校長上田薫
No. 24号
平成31年3月11日

「弥生(やい). 3月」 ～春はすぐそこまで～

私の家は、「大仏さま」で有名な東大寺の近くにあります。走れば約10分くらいでつけます。



さて、現在、この東大寺内の「二月堂」と呼ばれるところで「修二会(しゆにえ)」という行(ぎょう)が営まれています。これは、二月堂に安置(あんぢ)されている仏様(「十一面観音菩薩(じゅういちめんくわんおんぼさつ)」)に対し、「世界平和と人の幸せを祈る」ための法要(ほうぎょう)です。

実は、この行は、今年で1268回目とあり、一番最初は752年から始まりました。これほど一回も途絶えることなく、続いてきています。先の大平洋戦争(おほひやうせんそう)のあった沖(おき)の時も、この行は行われていたのだそうです。とても大事な伝統(でんとう)のある「行」なのだそうです。毎年、3/1～3/14までの約2週間(にっしゅうかん)に渡り、行われていたのですが、中でも、明日(あした)12日は、いよいよ文(ぶん)です。おたむつ(写真(しやしん)の筒(つつ)の先に杉(すぎ)葉(は)を使っておたむつ用の火(か)の器(き)を作る)を使って、燃(も)えさがる火(か)の粉(こな)をまき散(ち)らして「無病息災(むびょうそくさい)」など(な)を祈願(いのり)する取組(とりぐみ)があり、クライマックスを迎(むか)えます。

この行が終われば「奈良にも本格的な「春」がやってくる」と昔(むかし)から言(い)い伝えられていた。いよいよ春間近(はるまじか)の今週(このしゅう)です。

< 3年生、大切な一週間を！ >

明日(あした)(3/12:火)は、公立高(公立高等学校)の一般入試(いふびょうしゅうし)です。いよいよ受験(こうけん)も大詰め(だいしゅうめ)です。いよいよ話(わ)しているように、この日(このひ)と迎(むか)える我(われ)各自(各自)が積み上げてきた

"努力"は相当なものをしたと思う。自分の信心、思い、限り、力を尽くしてやる。八のうら応援している。

そして、今週末(3/15:金)は卒業式。

3年生が通河、3年生ととれ一週、最後の一週間です。

卒業を目前にして、君たちの胸の中は言葉では表せない、たくさんの思い、様々な思いがあるからこゝろだと思いたい。

今日のこの紙面を使って、一つメッセージを送りたい。

それは、これから、一人一人それぞれの"幸せ"に生きることに全力を尽くしてくださいということだ。

将来の夢(やりたい、就く)を叶えること、次のステージで目標としていること等々...)をこの向かって突き進むこと、突進地活躍すること、あるいは、"大好きな人と一緒に通河すること"、人それぞれの"幸せ"のカタチがある。

このうち、先に目を向けた"幸せ"への挑戦と、毎分、毎秒、毎日、当り前の様に通河している喜び(朝起きてから夜寝るまでの一日)を送ることが出来る。この幸せには、君たち一人一人のカタチがある、家族の支えや君たちを思う思いであり、友達との存在であり、周囲の他人(こ)からの力がある。

"幸せのカタチ"はそれぞれ異なるが、人には、それぞれの"幸せ"に生きることを追い求める。これが与えられている。

そして、この"生きろ"は、他人の手で力に於て冒される(侵される:おかし)ことがあつたりはならないものだ。

これから先、道も、決して平坦な道ばかりではない。"歩む、前へ、前へ、と突き進んでください。"歩む、前へ、自分の幸せを追い求める"歩み"を!。周囲の他人の"幸せ"への歩み、を応援する心を持って!!

尚、このメッセージは、3年生にだけ送るのではなく、1、2年生にも、全校生徒のみんなに送りたい。みんなに送りたい。

今日で東日本大震災から八年。犠牲者の方々に哀悼の意を表す。被災された方々に早く復興と功なりを祈ります。